

医学研究に関する情報公開文書

研究課題名	医学部学生における、簡易質問票を用いたメンタルヘルス不調スクリーニングと学業成績および進級との関連についての研究
研究責任者	堀田喜裕
研究機関名	保健管理センター
研究目的と意義	<p>大学入学時には環境の変化による様々なメンタルヘルス不調が起りやすいとされており、その後の適応状況によって経時的にメンタルヘルス不調が悪化する学生もしばしば認められる。また、近年注目されている発達障害ではコミュニケーション障害を伴うことが多く、2次的抑鬱の誘発や病院での実臨床における大きな障害となることが予測される。</p> <p>本学では新入学生に対するメンタルヘルス管理を目的として、1986年より University Personality Inventory (UPI) 質問票による調査を実施していたが、UPI は設問数が 60 項目と多く、その精度も疑問視されている。</p> <p>一方、Kessler (K)6 は 6 項目の質問から成り、簡便かつ成人の抑うつ・不安をよく反映する実績のある質問票である。この K6 に、自閉症スペクトラム (ASD) および注意欠損多動性障害 (ADHD) など発達障害の特徴的症狀に関する項目を追加した簡易質問票を作成した。我々はこの簡易質問票を用いて 2016 年から新入生においてアンケート研究を実施し、K6 スコアが入学時および 6 ヶ月後の希死念慮を予測でき、かつ ASD 関連指標と正の相関を示すことを見出した。</p> <p>今回の研究では、上記の簡易質問票を医学部の全学生に実施し、K6 スコアと学業成績、留年・休学・退学などの状況、および発達障害特性との関連について前向き調査を実施する予定である。簡便な K6 質問票により、発達障害を含む学生のメンタルヘルス障害や学業成績、留年等の予測が可能となれば、早期の適切な対処を講ずることも可能となり、今後の医学部での学習を成功させる有益かつ簡便なツールとしての有用性も期待できる。</p>
研究期間	西暦 2019 年 4 月 (倫理委員会承認後) ~ 2022 年 3 月
研究方法	<p>●対象となる学生： 浜松医科大学医学部に在籍する全学生</p> <p>●研究に使用する試料： (1)簡易質問票 (2)AQ 日本語版 (3) ASRS v1.1 日本語版</p> <p>●研究方法 4 月と 9 月に簡易質問票による調査を実施する。事前に設定した基準をもとに面談を実施し、メンタル不調の有無を確認する。また、ASD, ADHD 関連項目の質問票で Grade3 以上の回答を得た学生には AQ 日本語版または ASRS v1.1 日本語版を実施する。</p>
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号

浜松医科大学医学部附属病院

診療科：保健管理センター

担当者：内藤由美

TEL：053-435-2156      FAX：053-435-2157

E-mail：hac@hama-med.ac.jp